

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業名 ：一般国道220号新城 ^{しんじょうかくふく} 拡幅 起終点 ：自：鹿児島県垂水市新城 至：鹿児島県垂水市柘原	事業区分 ：一般国道	事業主体 ：国土交通省 九州地方整備局 延長 ：5.8 km	
事業概要 ：一般国道220号は、宮崎市～国分市に至る延長約186kmの主要幹線道路である。新城拡幅は、交通量が多いにも係らず道路が狭く、歩道が整備されてない現状であることから道路の拡幅及び歩道設置を行う事業である。			
S58年度事業化	S61年度都市計画決定	S60年度用地着手	S62年度工事着手
全体事業費 ：170億円		事業進捗率 ：69%	
計画交通量 ：12,600台/日		供用済延長 ：3.8 km	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.3 (残事業) 1.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 44/207億円 (事業費：36/177億円) (維持管理費：8/30億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 71/263億円 (走行時間短縮便益：62/244億円) (走行費用減少便益：7/15億円) (交通事故減少便益：2/4億円)
基準年 ：平成16年			
事業の効果等 ・物流効率化の支援（農林水産品のトラック集積・出荷等、流通の向上） ・国土、地域ネットワークの構築（生活中心都市間（鹿児島市～鹿屋市）の連絡強化）他4項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 一般国道220号は、大隅地域における産業・文化等の飛躍的發展を目指し道路整備について積極的要望を受けており、大隅地域2市17町で構成される大隅総合開発期成会、外5団体より要望を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 年々増える交通量に伴い歩行者における地元住民及び通学生の安全の確保が急務となっている。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 現道拡幅及び住宅密集地であることから、事業に長期間を要したが、平成15年度末で3.8kmの供用している。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 今後も用地取得、工事促進し平成17年度までに宮脇地区、柘原地区の1km供用予定である。			
施設の構造や工法の変更等 新技術・新工法の活用、建設副産物対策によりコスト縮減を図っている。			
対応方針 対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。